

委22-3-4

H-II ロケット6号機による熱帯降雨観測衛星（TRMM）及び技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）の打上げに係る安全対策について（案）

平成9年6月25日
宇宙政策課

	安全評価のための基本指針の項目	安全対策	過去のものと比較
地上安全対策	ロケットの推進薬等の射場における取扱いに係る安全対策	搭載推進薬等 火薬類 固体推進薬 約118.2t 火工品 約 200kg 高圧ガス 液化水素 15.2t 液化酸素 86.5t ヘリウムガス 1264.6l 窒素ガス 373.6l 危険物 ヒドラジン 1418kg 作動油 88l	H-II4号機とほぼ同じ
	静電気対策	とられている	H-II4号機と同じ
	保護具の着用	着用が義務付けられている	H-II4号機と同じ
	防護設備の使用等	原則として遠隔操作する	H-II4号機と同じ
	取扱い施設の夜間巡視等	夜間等には巡回監視を行う	H-II4号機と同じ
	発火性物品の持込み規制等	規制される	H-II4号機と同じ
	後処置作業	打上げ整備作業時の安全対策に準じる	H-II4号機と同じ
	警戒区域の設定		
	整備作業期間	① ヒドラジン取扱所：185m ② 第3段衛星組立棟：185m ③ 衛星フェアリング組立棟：185m ④ 吉信整備組立棟：200m ⑤ 吉信射座点検塔：200m, 250m, 450m	H-II4号機とほぼ同じ
	打上げ時	吉信射点：3000m（発射約7時間30分前）	H-II4号機と同じ
	航空機及び船舶に対する事前通報	水路通報、ノータム等により通報する	H-II4号機と同じ
	作業の停止等	安全上の措置が講じられている	H-II4号機と同じ
	防災対策	適切な対策がとられている	H-II4号機と同じ
飛行安全対策	落下物等に対する安全対策		
	ロケット燃え殻等の落下予想区域	陸地及び外国の周辺海域に影響与えないよう設定されている 固体ロケットブースタ 上部衛星フェアリング 第1段の燃え殻 図-1	H-II2号機とほぼ同じ

	落下予測点軌跡	可能な限り人口稠密地域から離れて通過するよう飛行経路が設定されている 図－２	H-112号機とほぼ同じ
	ミッション終了後宇宙空間における不要な人工物体となるものの発生の抑制	宇宙空間に残るもの 第２段（安全弁、推進薬の排出） TRMM 下部衛星フェアリング ETS-VII	H-112号機とほぼ同じ
	飛行中の状態監視、飛行中断等の安全対策		
	飛行中の状態監視	安全確保上必要な範囲で行われる	H-112号機と同じ
	飛行中断	必要な場合には飛行が中断される	H-112号機と同じ
	電波リンクの確保	飛行安全管制終了まで確保されている	H-112号機とほぼ同じ
	警戒区域の設定	図－３	H-112号機とほぼ同じ
	航空機及び船舶に対する事前通報	水路通報、ノータム等により通報する	H-112号機と同じ
安全管理体制	安全組織及び業務	地上安全、飛行安全の組織が編成される	H-114号機と同じ
	安全教育・訓練の実施	実施される	H-114号機と同じ
	緊急事態への対応	予め定める手順に従って必要な措置が講じられる	H-114号機と同じ
所見	地上安全対策及び安全管理体制はH-114号機と、また、飛行安全対策はH-112号機とほぼ同じであり、所要の安全対策が講じられており、妥当であると考えられる。		

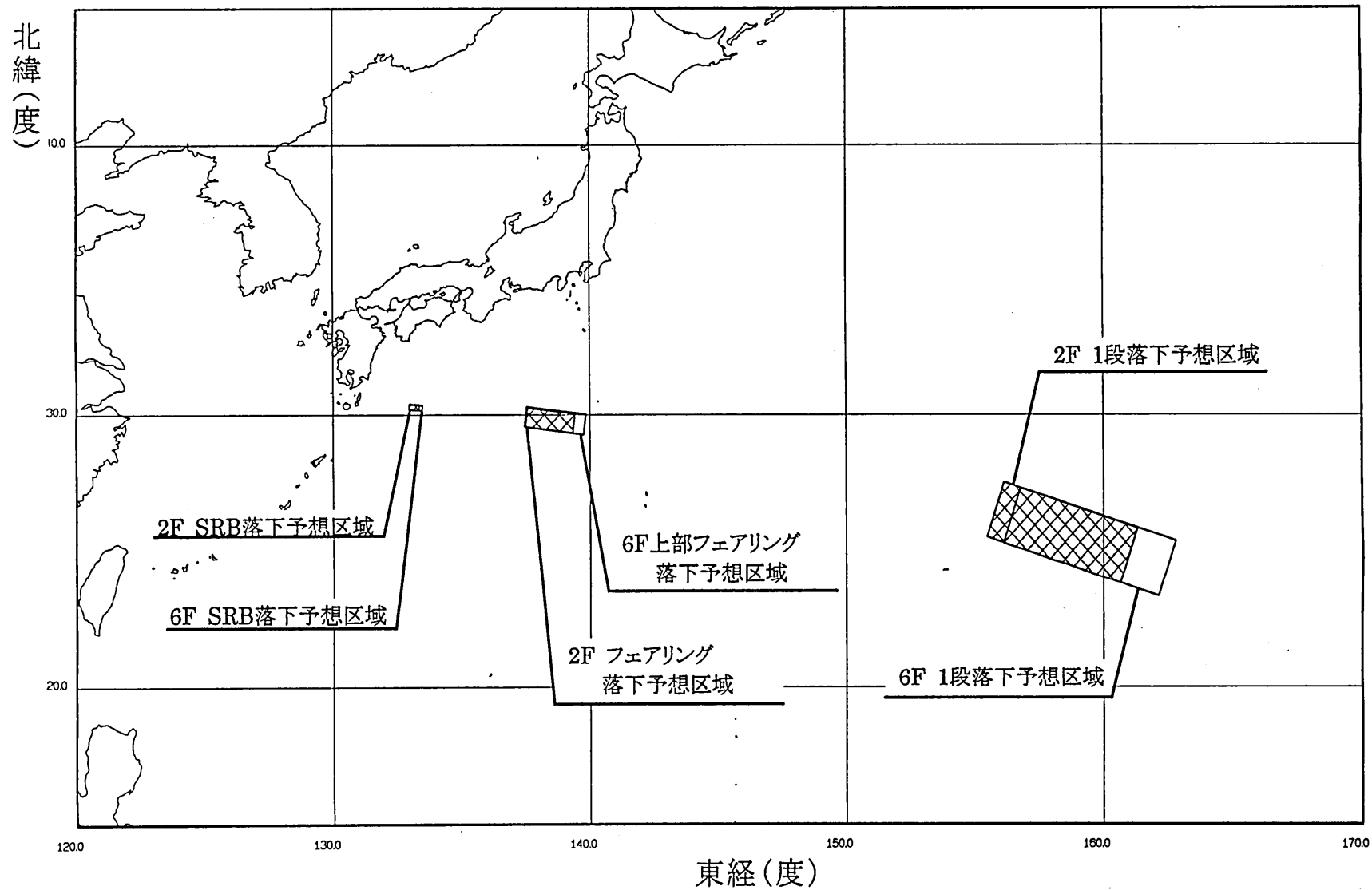


図-1 ロケット燃え殻等の落下予想区域(2号機と6号機の比較)

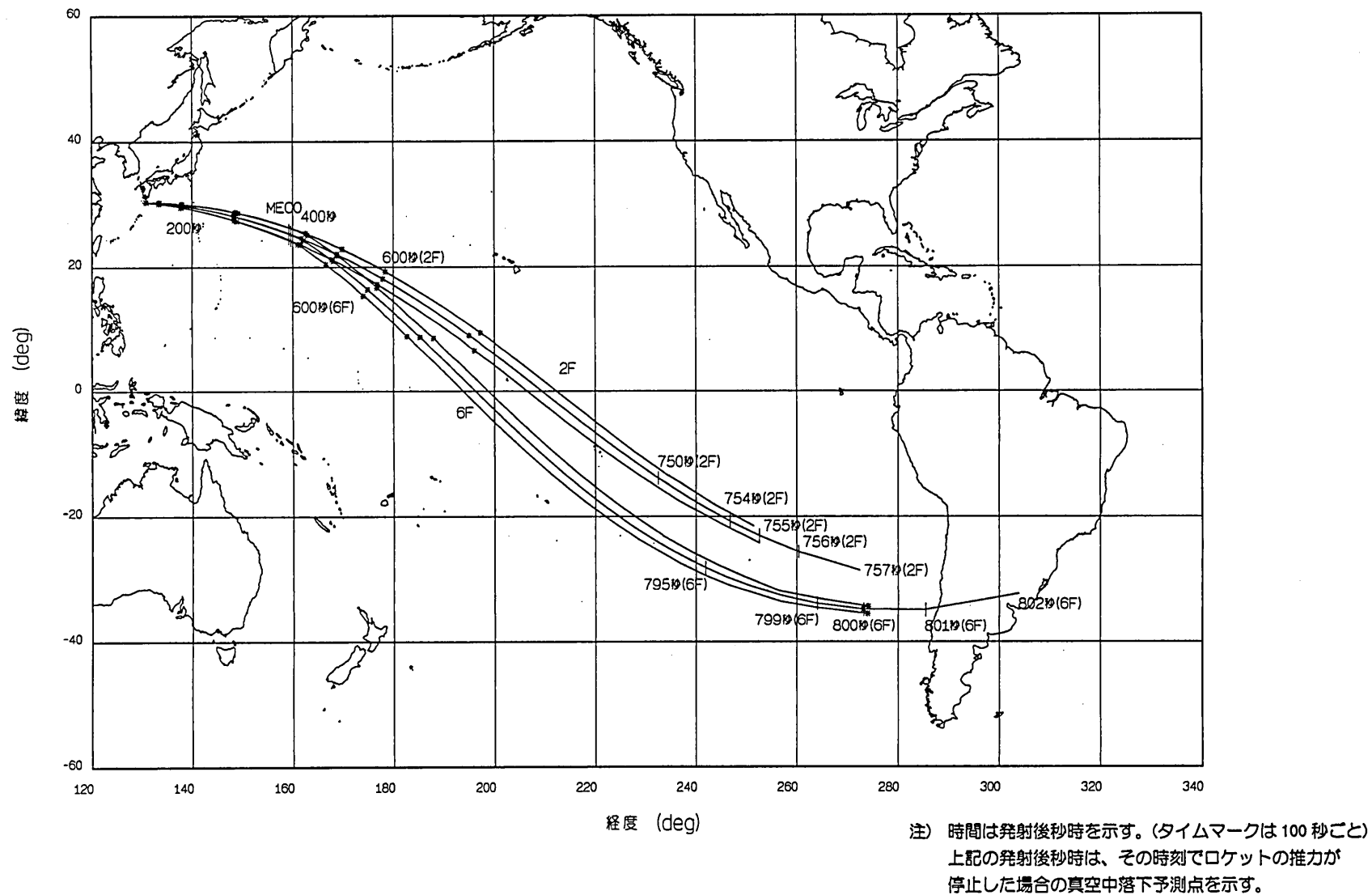


図-2 落下予測点軌跡 (2号機と6号機の比較)

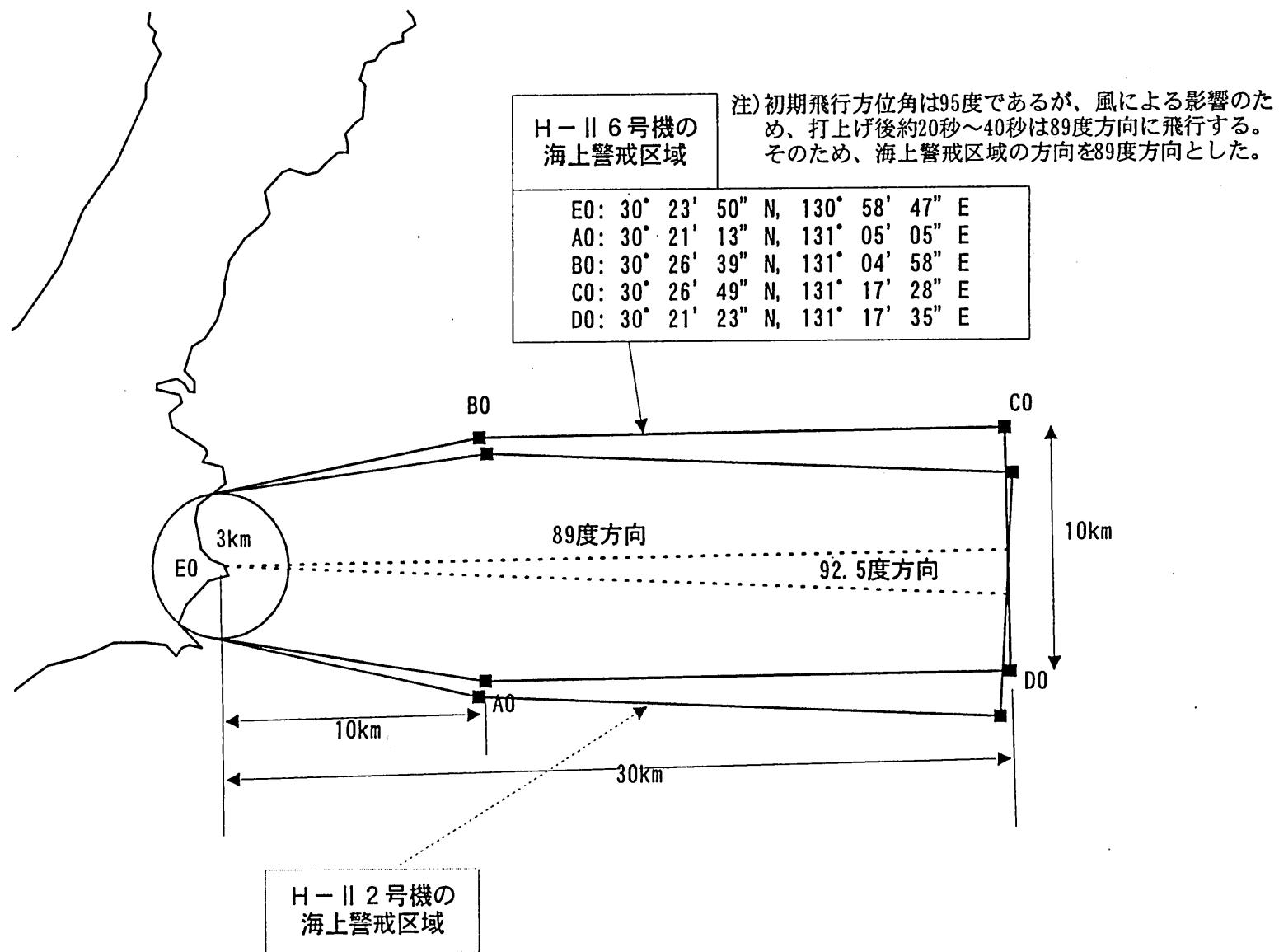


図-3 警戒区域（2号機と6号機の比較）